

令和2年度第3回茨城県男女共同参画審議会

1 日 時

令和2年11月30日（月）10時00分～12時00分

2 場 所

茨城県開発公社ビル1階 中会議室

3 出席者（敬称略、五十音順）

阿部 重典（(株)茨城放送 代表取締役社長）
安藤 隆子（茨城県女性団体連盟会長）
飯田 昭子（連合茨城女性委員会副委員長）
大塚 昌弘（茨城県学校長会副会長）
長田 佳世（茨城県産婦人科医会理事）
清山 玲（茨城大学人文社会科学部教授）
高輪 忍（(株)常陽銀行 執行役員人事部長）
中島 美那子（茨城キリスト教大学文学部教授）
中本 義信（コラソン法律事務所 弁護士）
仲山 郁夫（NPO法人ウィメンズネット「らいず」会員）
山形 芙美（日立商工会議所女性起業家交流グループみゅーず net 会長）
横田 祥（(有)横田農場 米粉スイーツ加工部長）

12名

4 内 容

(1) 開会

(2) 議事

- ①茨城県男女共同参画基本計画（第4次）に係る答申（案）について
- ②茨城県男女共同参画基本計画（第4次）に係る目標指標等について

(3) 閉会

<配布資料>

- 資料1 第2回審議会の御意見への対応
- 資料2 パブリックコメント等の実施結果について
- 資料2-1 パブリックコメント実施結果について
- 資料2-2 市町村意見聴取結果について
- 資料3 茨城県男女共同参画基本計画（第4次）の概要（案）
- 資料4 茨城県男女共同参画基本計画（第4次）（案）答申（案）
- 資料5 茨城県男女共同参画基本計画（第4次）に係る目標指標（案）及び参考項目（案）について

5 結 果

- ・開会にあたり、茨城県県民生活環境部 松浦次長が挨拶を行った。
- ・議事について、事務局から説明を行った後、議論が行われた。主な意見は下記のとおり。
なお、修正については委員長に一任された。

<主な意見>

※記載は発言順

- 「特に、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い」とあるが、新型コロナウイルスに起因す

る生活不安やストレスがあり、そのストレスによりDVの増加や深刻が懸念されるということが分かりづらい。

- 「DVが起きている家庭では、子どもに対する暴力が同時に行われている場合があります留意が必要です」の内容が分かりづらい。子どもに対して手を上げる上げないではなく、DVを目の前で見せられていること自体が子どもにとって虐待だから、DVの起きている家庭にいる子どもには留意してくださいということ。
- 不妊治療をしようと思っても休みを取りづらい環境があるということで不妊治療を断念する女性が多い。不妊に対する支援の費用だけでなく、通院しやすい環境づくりという言葉を入れていただきたい。
- 学校教育活動全体を通じて、広い活動の中でキャリア教育を考えていこうという流れ。キャリア教育は職場体験や家計についての学習をやればよいと捉えられてしまうことが懸念される。
- 将来の働き方に大きく影響するので、家計についてはぜひ学んでほしい。
- 職業に対する理解とか職場体験が入っていた方がよいのでは。また、中学生の記載がない。
- 新型コロナウイルス感染症に関する記載で、多くの女性労働者の職業特性をみると、在宅勤務ができないとかテレワークで働くことが現実的でなかったり、在宅勤務ができない職種についていたりすることが多い。一方でテレワークも進んだ側面もあるので、進んだ部分と運営上不安になった部分があることを併記してはどうか。
- 「成果主義」という言葉は、女性活躍にプラスになることばかりではないので誤解を生みやすい。
- 「情報教育の推進」だと、インターネットそのものの教育を進めていくように思える。リテラシーそのものを含まれるような表現にしてはどうか。
- キャッチフレーズは積極的な参加を促す言葉も良い。